

四万十図書館だより

発行＊四万十市立図書館

発行日＊令和6年9月1日

まだまだ残暑が厳しい毎日ですが、皆さまお元気にお過ごしですか？
秋の夜長に読書はいかがでしょう。また、9月は子どもの行事を多く企画しています。「子ども図書館員体験講座」は締め切りでしたが、「映画ざんねんないきもの事典」は当日参加OKです。ぜひご来場ください。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

→休館日

一般展示

「おきつだれっ」

7月3日に新紙幣が発行されたことに合わせて、現在まで起用された人物の伝記や小説など関連本を展示しています。

場所：一般展示コーナー

特別展示

「学ぼうさい」

8月30日～9月5日まで防災週間です。
南海トラフ地震や台風、水害、火事などの災害に備えましょう。

場所：展示コーナー

本館

9月図書館情報

- 児童『映画ざんねんないきもの事典』上映会
日時：9月8日（日）10時30～（開場10時15分）
場所：市役所3階会議室
対象：3歳以上（未就学児は保護者同伴）
参加費：無料 定員：30名程度
- ★ 『子ども図書館員体験講座』締め切りました
日時：9月21日（土）13時30分～16時30分
9月22日（日）9時30～12時
場所：四万十市立図書館 多目的ホール
対象：小学校3年生～中学生（両日参加可能な方）
参加費：無料 定員：5名

※状況により中止や変更となる可能性もあります。

児童展示

「伝記を読もう」

日本や、世界中で活躍したまたは活躍中の有名人の足跡をたどってみよう。

場所：児童展示コーナー

ティーンズ展示

「物語の世界へ飛び込もう」

読書の秋に合わせて、小説の展示を行ないます。手に取ったことのないようなジャンルの物語にチャレンジしてみよう。

場所：展示コーナー



新着本紹介



小説	『天使の跳躍』 七月 隆文
『あなたを待ついくつもの部屋』 角田 光代	『常盤団地の魔人』 佐藤 厚志
『息のかたち』 いいい しんじ	『二月二十六日のサクリファイス』 谷津 矢車
『越境』 砂川 文次	『バーニング・ダンサー』 阿津川 辰海
『赫夜』 澤田 瞳子	『バラバラ屋敷の怪談』 大島 清昭
『籠の中のふたり』 薬丸 岳	『バリ山行』 松永 K三蔵
『狐花』 京極 夏彦	『万、已むを得ず』 幸田 真音
『銀色のステイヤー』 河崎 秋子	『法廷占拠』 呉 勝浩
『銀河の図書室』 名取 佐和子	エッセイ
『グレイスは死んだのか』 赤松 りかこ	『ベスト・エッセイ 2024』 日本文藝家協会
『月花美人』 滝沢 志郎	『わたくし大画報』 和田 誠
『紺碧の海』 梶 よう子	手記
『地面師たち』 新庄 耕	『がん闘病日記』 森永 卓郎
『その朝は、あっさり』 谷川 直子	外国文学
『鷹の飛翔』 堂場 瞬一	『百年の孤独』 G.ガルシア＝マルケス
『武田の金、毛利の銀』 垣根 涼介	『舟』 マイケル・ヤング

心理	農林水産業
『アダルトチルドレンの教科書』 横道 誠	『古典籍にみる日本の野菜』 杉山 信男
旅行	『ビジュアルで学ぶ麻を知る図鑑』 セルジュ・シャル 他
『るるぶアメリカ西海岸 '2024』	カメラ
『るるぶ北欧 '2024』	『こどもを撮るマニュアル本』 今井 しのぶ
『るるぶ山口萩下関 '25』	ウォータースポーツ
社会・文化	『サーフライフセービング教本』 日本ライフセービング協会
『コンゴ民主共和国を知るための50章』 木村 大治 他	音楽
『スウェーデンを知るための64章』 村井 誠人	『ストーリーを形にする作詞教室』 中村 隆道
医学	郷土
『強迫症/強迫性障害をワークで治す本』 野間 利昌	『高知 2024』
『失語症の人と話そう』	『四国遍路』 畠田 秀峰
『すべての不調は自分で治せる』 藤川 徳美	『中浜万次郎の生涯』 中浜 明
『認知症医療革命』 伊東 大介	『森田療法のすべてがわかる本』 北西 憲二
『名医が教える！目のトラブル解決大全』 平松 類	『吉田類の愛する低山30 2合目』 吉田 類

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など
 貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)
 定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)
 ※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)